



いまこそ一歩踏みだそう!

第2回「コロナ危機のもとでの党づくり」
経験交流会 5月23日(土) 10時~
田口かずと名古屋市議が出演! 党内通信で視聴を

水道料減免+1=26自治体に

あま市が新たに減免します。水道料金減免自治体は54自治体中26自治体です。

名古屋市・小牧市・春日井市・清須市・大府市・半田市・知多市・岩倉市・江南市・稲沢市・弥富市・愛西市・岡崎市・豊田市・西尾市・安城市・知立市・刈谷市・碧南市・あま市・大口町・扶桑町・蟹江町・阿久比町・大治町・飛島村

県営水道へ要請

県党コロナ対策本部は19日、愛知

県営水道に料金引き下げを要請しました。三宮前弥富市議も参加し、高すぎる料金の引き下げを強く訴えました。



学校再開に向けて

学校再開が近づきました。

みよし市 少人数学級 感染症対策の観点から、再開後の小学校はークラスを最大28人程度とする少人数学級を推進すると表明。児童一人当たり1.5㎡を確保します。空き教室を活用。職員増の予算2千万円も確保。

「安全安心な学校再開に向けての申し入れ」 江南市議団



党江南市議団は19日、市長及び教育長に10項目の申し入れを行いました。参考になります。

○非正規教員、教職経験者を活用し、少人数授業を広げ、密集を避ける ○感染者が出た場合等の対応ガイドラインの作成 ○発熱した児童生徒の休養室を保健室と別に確保、養護教諭を補助する人を配置、対応マニュアル作成 ○子どもたちと教員の心のケアを ○授業時間確保を理由に、過剰な補習や土曜授業、7時間授業は子どもを追い詰めかねないので中止を ○小学英语、道徳、プログラミングの実施を見直す ○真夏の学校給食の衛生管理 ○適切なエアコン稼働と十分な喚起 ○登下校時を含め水分補給を ○就学援助世帯へ昼食代金補助を 年度途中でも就学援助の認定を



意見書を国へ 名古屋市

会は「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の増額を求める意見書」を全会一致で採択。

名古屋市への臨時交付金は33億円余ですが、4月補正で142億円、5月補正で130億円、90億円の財政調整金を取崩しましたが交付金があまりにわずか!

意見書には「交付限度額の算定方法は、財政力指数に大きく影響され、感染状況や産業が集積する大都市部における影響が十分考慮されていない」「示された金額では十分な対策を行うことは困難」として政府に最大限の財政措置を求めています。

春日井市議会は「新型コロナウイルス感染症による経済等の対策強化を求める意見書」を全会一致で採択。「消費税を当面減税」「定額給付金の給付を継続」「持続化給付金の対象要件の緩和と大幅拡充」「(医療や保育などの)従事者の待遇改善および労働環境の整備」など党の主張が盛り込まれました。

ちょっと一息



犬山市議会3人中2人 17議席中党市議団3人の犬山市議会。5月臨時議会で総務委員長に水野正光議員、建設経済委員長に岡覚議員が就任。3つの常任委員会中2つの委員長を日本共産党議員がつとめます。

扶桑町で荒木議員デビュー 4月の町議選で無投票当選した荒木孝三議員。19日の臨時議会では新人ですが最年長ということでいきなり仮議長に。緊張しましたね!

オンラインで議員団会議 尾東南部(日進・東郷・豊明)議員団4人はスマホやパソコンを使いスカイプ団会議を開催しています。ただし映像送ると容量が大きすぎるので音声のみでやりとり。教員からの聞き取りもオンラインで行いました。「やれるもんだね!」「なんか変な感じだけど」との感想も。ところでスカイプってなに?という人は詳しい人に聞いてね!

